

第7回 講座・会議等記録

- 1 日 時 平成25年7月25日(木) 10時00分～11時30分
- 2 場 所 北浦和西口 県立美術館(現地集合)
- 3 出 席 者 52名
- 4 準 備 担 当 6班から2名選出
- 5 講 座 内 容 大宮中央校と岩槻校合同の社会見学が行われた。埼玉県立近代美術館は初めてという生徒が大半であった。当館は建築家の黒川記彰の設計で公園の緑と美術館との調和を考えた設計となっており、特に椅子の美術館として異彩を放っている。有名クラフトマンの設計による各種の椅子が館内に点在し自由に座り心地を味わうことが可能である。当館は年間約30万の入館者があり年間様々な企画でわれわれの目を楽しませてくれている。

今回の常設展では、リサーチプログラムとしてドラクロワの「聖ステバノの遺骸を抱え起こす弟子たち」がどのような考察から書かれたかを学術的に解説していた。当館所蔵の名画であるピサロ・モネ・ユトリロ・シャガール等の西洋絵画と共に、佐伯裕三や岸田劉生等にも出あうことが出来た。又、埼玉の画家である高田 誠の生誕100年記念特別展を鑑賞。ユーモアとリアリズムの部屋では現代美術として1970～2000年の一風変わった芸術に触れることが出来た。特別展では「浮遊するデザイン 倉俣史朗とともに」(有料)が同時開催されていた。